

産学官民が連携した 「あいぼう会」の10年



愛知県・地震に強いものづくり地域の会「あいぼう会」
顧問（前会長）正木 和明

1 あいぼう会とは？

本会は文科省助成金により設立された愛知工業大学地域防災研究センター活動の一環として平成18年12月に発足しました。会の名前は、愛知県防災、愛知工業大学防災、相棒を踏まえて敢えてひらかなで「あいぼう会」と命名されました。正式な名称は「地震に強いものづくり地域の会」です。事務局を愛知工業大学地域防災センターに置き、東海地域を中心に事業所を置く企業や大学、地域コミュニティ等45団体の他、図（組織図）に示すように、自治体、経済界、インフラ企業にも参加いただいている「産学官民連携組織」であり、全国的にも珍しい会です。



図 あいぼう会組織図

2 活動目的

東海地域は、製造業を中心とする日本有数の産業集積地帯ですが南海トラフ地震等地震危険度が極めて高い地域でもあります。従って、この地域の産業を守るためには企業防災力の向上を図る事が喫緊の課題と言えます。本会設立趣旨には、「企業の災害に対する被害の軽減、復旧の迅速化を目指す事を目的として、会員が災害に関する知識の習得や会員相互の交流・切磋琢磨・協力を行う事によって、企業防災、ひいては地域の防災力の向上に結び付く活動を行う事」

と述べられています。

3 活動実績

(1) ワークショップ（年7回）

毎年2～3テーマについてワークショップを開催しています。会員はいずれかのワークショップに属することが求められ、年度末には成果を報告します。表に示す課題に取り組んできました。

タイトル		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
分科会	企業防災ビギナー									
	使える防災マニュアル									
	企業防災と地域連携									
	緊急地震速報の利活用									
	防災力検定作成									
WS	企業防災事例集(第1WS)									
	災害リスク情報(第2WS)									
	防災力検定(第3WS)									
	防災サロン									
	防災備蓄品(第4WS)									
企画・成果展覧(第5WS)										

表 分科会・ワークショップテーマ

(2) 防災セミナー（年7回）

大学教員、企業・自治体の災害対策関係者を講師に招き、東海地域の自然災害、防災施策、企業防災対策等に関するセミナーを開催しています。基幹インフラの防災対策、愛知県の防災減災施策、東日本大震災救援活動等について議論しました。



防災セミナー「東日本震災の救援活動」

(3) 見学会（年2回）

個人や企業単独では見学できない諸施設を訪問しています。中部国際空港、航空自衛隊小牧基地、愛知県庁、高速道路管理室といった公的施設だけでなく、浜岡原子力発電所、東邦ガス、製鉄所、自動車メーカー工場等の企業の防災対策現場も見せていただきました。

(4) 勉強会（年1回）

大学、自治体、企業から防災専門家を講師に招き、企業防災力、BCP、緊急地震速報、企業地震対策事例、自治体の取り組み等について、時間をかけてじっくりと勉強しました。

(5) 講習会（年1回）

実際に体験しながら防災対策について学ぶ講習を開催しています。会員による家具転倒防止方法、AED使用法の指導、豊田市消防本部によるロープ結索、救急救命法、災害がれ場歩き、はしご車ビル避難等実践的な体験・訓練を行いました。



豊田消防本部におけるはしご車救出訓練

4 東北・石巻市との連携

あいぼう会は他地域との連携も積極的に行っています。企業の被災・復興状況を実際に聞くために東北地域へ2度視察に出かけ、石巻市役所、女川町役場、地元企業7社の関係者と意見交換を行いました。また、

宮城県名古屋企業立地センターから講師を招き、東日本大震災後の宮城県内企業の復興状況についてセミナーを開催しました。



被災地視察「石巻市役所訪問」

5 地域への展開

本会や企業で培った防災に関する知識や経験を生かし、地域の自主防災会・ボランティア団体などにおいて防災教室などの活動を展開する会員やOBが多くいます。産と民との連携活動は珍しく特徴的な活動と言えます。

6 おわりに

東海地域では過去、濃尾地震、東南海地震、三河地震と言った地震だけでなく、伊勢湾台風や東海豪雨災害など風水害も多く発生しています。今後も、南海トラフ巨大地震やスーパー伊勢湾台風の危険は高いと思われます。本会は、会員相互が連携し、このような巨大災害に立ち向かっていく覚悟です。

最後に、昨年度は防災まちづくり大賞消防庁長官賞をいただきました、おかげをもちまして本年度には内閣総理大臣表彰をも授与されました。厚くお礼申し上げます。これらの受賞に応えられるように、あいぼう会は今後も産学官民連携によってこの地域の防災力向上に貢献したいと考えております。